



### 3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

平成27年度は、本学が実施した「ユネスコスクール研修会/国際シンポジウム」を中心に事業を実施するとともに、ASPUnivNetのメンバーとして三重県のユネスコスクールの拡大および活動の活性化に貢献した。

#### 【ESD活動】

- ①三重県多気郡明和町に所在する国史跡齋宮跡は、史跡指定から35年を経て、兵平成27年秋に、新しい史跡公園「さいくう平安の杜」が完成した。史跡指定当時の状況や経緯を知る世代の人々から聞き取り調査による記録をまとめて、後世に伝えていく事業を「齋宮歴史博物館」と協働で行った。
- ②日韓国交正常化50周年記念事業の一環として、海女文化をテーマに、双方の大学生による相互訪問と文化交流が行った。今回は、7月に韓国から訪れた学生30人を鳥羽・志摩に迎え、三重大学生とともに鳥羽・志摩の漁村や海女祭礼の見学や体験をしました。9月には三重大学生や教職員30人が韓国の済州島及び釜山へ行き現地の海女との交流を行った。日韓学生の交流と文化の相互理解(特に海女文化)を通じて日韓交流の向上につながるよい機会になった。

#### 【ユネスコスクール支援および活動】

- ①三重大学は全学的な取り組みとして、平成21年8月に日本の総合大学初となるユネスコスクールに加盟しASPUnivNetのメンバーとして三重県のユネスコスクール活動の活性化に貢献している。  
また、文部科学省「平成27年度ユネスコ活動費補助金 グローバル人材の育成に向けたESDの推進事業」の採択を受け、「三重ブランドのユネスコスクールコンソーシアム」の構築を進めている。  
三重県では、三重大学をはじめ、県内の小・中・高校21校(申請中5校)がユネスコスクールに加盟している。平成27年8月には「四日市公害と環境未来館」で環境問題をテーマとした「三重大学夏休み自由研究教室」を実施し、四日市の小中学生及び幼児とその保護者が3回にわたる講座に参加した。講座を通じて、環境保全の大切さや公害は絶対繰り返してはいけないことを子どもたちに伝えることができた。また、ユネスコスクール加盟を希望する学校については、相談と申請書類作成支援を行った。(担当県である長野県を含め20校の支援)
- ②平成27年度は8月と11月に松阪市松名瀬干潟に於いて、地元企業やトヨタ自動車株式会社、松阪市、三重県、松阪市内の中学高校、ボランティア団体、住民による産官学民連携による干潟清掃と環境学習を行った。参加した方たちはそれぞれ、自然豊かな水環境を未来に残すためには自分たちはどうしたらいいのか真剣に考える機会となった。  
また平成28年1月にはESDのさらなる発展について考える研修会/国際ESDシンポジウムを開催した。韓国と中国の専門家からの講演や、三重大学をはじめ県内のユネスコスクールの活動報告を行い、学校間の交流を深め連携を強化

することができた。

- ③平成 27 年度 2 回開催された「ASPUnivNet 連絡会議」や「東海北陸ユネスコスクール交流会」などにも参加をし、他大学や各ユネスコスクールで取り組んでいる先進的な事例を学び、ESD プログラムに関する知見を広げると同時に、ユネスコスクール支援大学として、地域における本学の支援のあり方について考える機会となった。

これらの実践と経験を踏まえ、三重大学では ESD の普及・推進を行うとともに、「三重ブランドのユネスコスクールコンソーシアム」事業との両輪で、ユネスコスクールの拡大と質の充実を図っている。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（）